



2019年3月期 決算説明会

株式会社 マキタ
取締役社長 後藤 宗利

1



国際財務報告基準(IFRS)の任意適用について

2019年3月期第1四半期より、米国会計基準(USGAAP)に
替えて、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しています。

また、前連結会計年度の財務数値につきましても、IFRSに
組み替えて比較分析を行っております。

2

2019年3月期 連結業績



前期比

売上収益	4,906億円	+2.8%
国内売上	921億円	+11.6%
海外売上	3,985億円	+0.9%

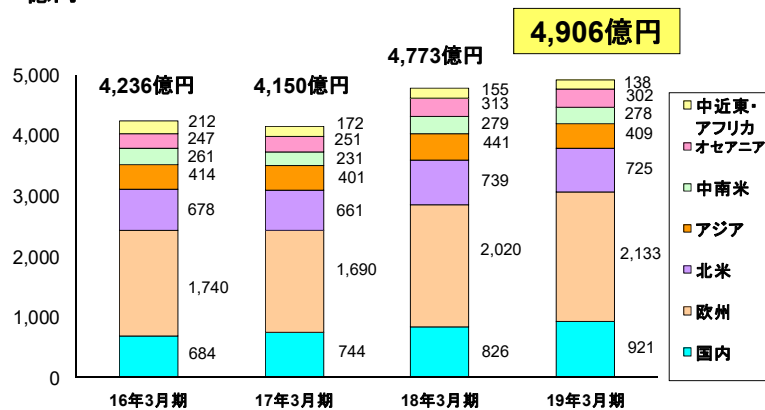
海外比率 81.2% (前期 82.7%)

3

地域別売上収益(通期推移)



億円



4



為替レートの実績

	18年3月期	19年3月期	
米ドル	¥ 110.85	¥ 110.92	0.1%の円安
ユーロ	¥ 129.66	¥ 128.44	0.9%の円高
人民元	¥ 16.74	¥ 16.54	1.2%の円高

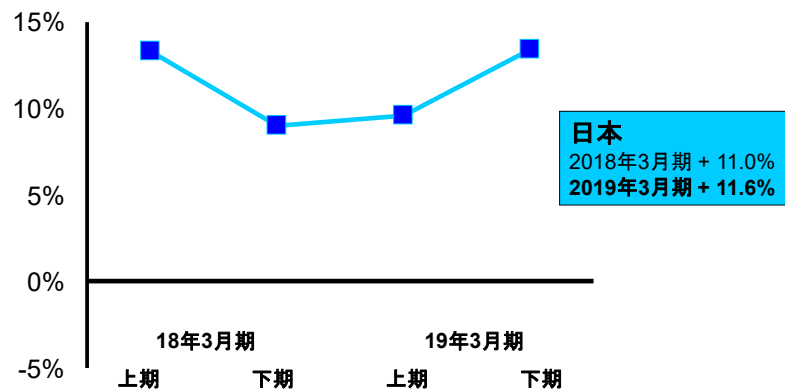
全通貨の加重平均で 2.6%の円高
売上収益の**減少額** 107億円

5



現地通貨ベース売上動向

日本



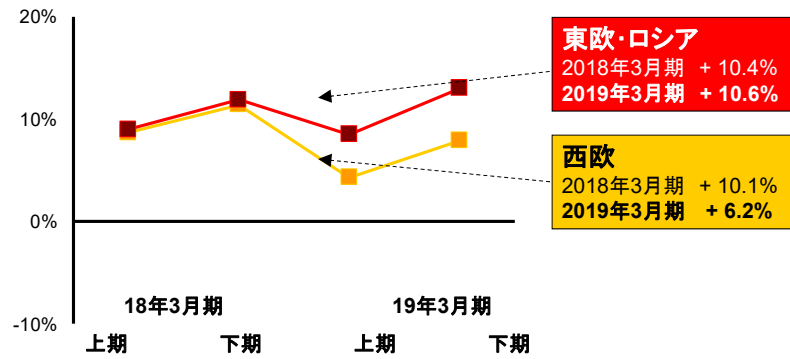
6

現地通貨ベース売上動向



欧州

前期比伸び率 + 7.8%

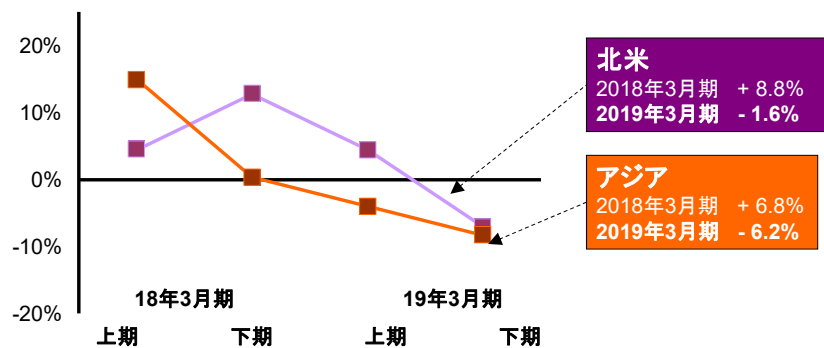


7

現地通貨ベース売上動向



北米・アジア

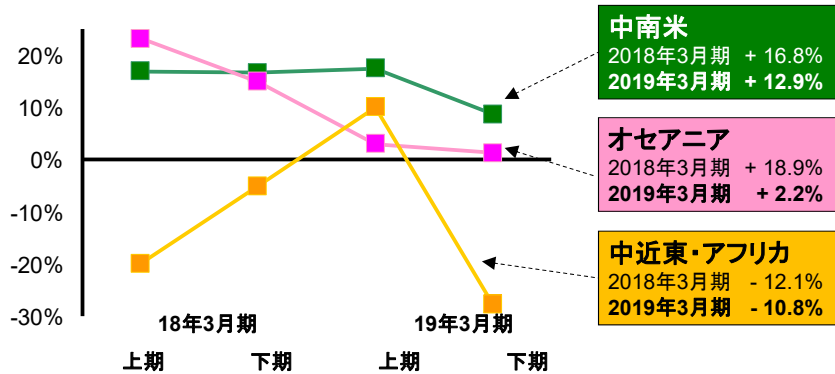


8

現地通貨ベース売上動向



中南米、オセアニア、中近東・アフリカ



9

リチウムイオンバッテリー製品 園芸用機器(OPE)



当期の新製品の一例



リチウムイオンバッテリー製品

「AC機を超え、さらなる高みへ」
充電式スクロッドライバ



「国内初コードレスで攪拌」
充電式カクハン機



「お手軽、プロ品質。」
充電式草刈機



「広範囲をパワフル刈り込み」
充電式芝刈機

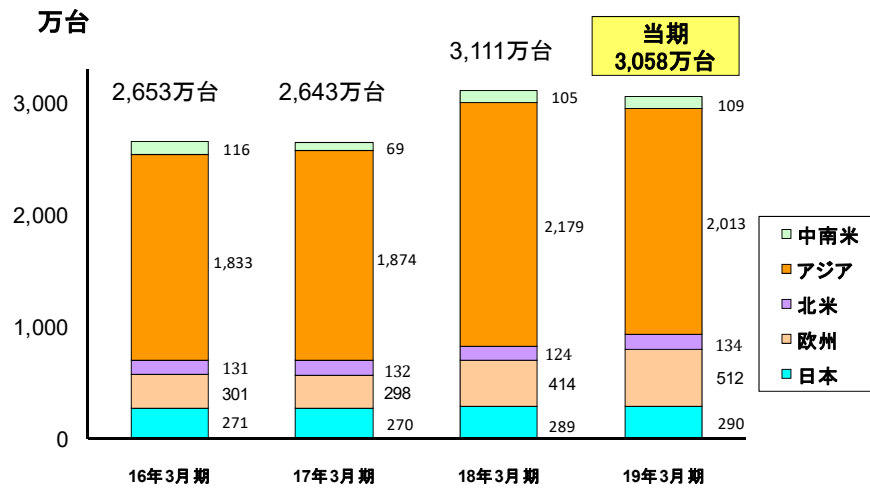


「軽量+高回転」
充電式チェーンソー

OPE製品

10

地域別生産台数



棚卸資産(在庫)



2018年3月末 1,965億円

2019年3月末 2,199億円

234億円増加

〔 内訳：実在庫 305億円増加
為替の影響 71億円減少 〕

営業利益・売上原価・販管費



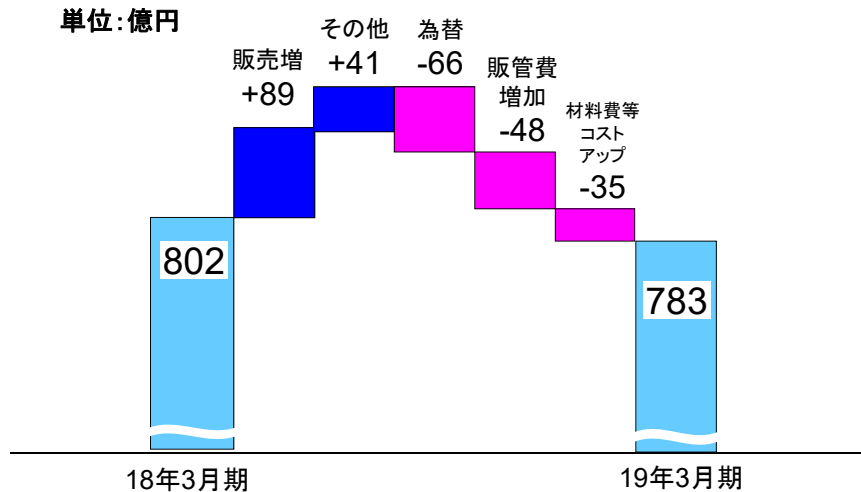
	18年3月期	19年3月期	前期比
売上収益	4,773億円	4,906億円	+2.8%
売上原価	3,014億円	3,134億円	+4.0%
売上原価率	63.1%	63.9%	0.8ポイント 上昇
販管費	957億円	989億円	+3.4%
販管费率	20.1%	20.1%	—
営業利益	802億円	783億円	△ 2.4%
営業利益率	16.8%	16.0%	0.8ポイント 低下

13

営業利益増減要因



単位：億円



14



金融収益・税引前利益・当期利益

	18年3月期	19年3月期	前期比
金融収益 (△費用)	△4億円	16億円	+20億円
税引前利益	799億円	799億円	+ 0.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	549億円	558億円	+ 1.5%
EPS	202.39円	205.37円	+ 1.5%

15



マキタの取組み

- **新製品** (リチウムイオンバッテリー製品群の拡充)
- **エンジンから充電へ**
- **販売・サービス、物流拠点の拡充**

16



マキタの取組み

新製品(リチウムイオンバッテリー製品群の拡充)

あらゆる製品カテゴリでコードレス化の動きを加速



355mm充電式切断機 LW141D



充電式空気入れ MP100D



防災キット CK1008

マキタバッテリー活用の場が
ますます拡大

充電制御、モータ技術を通じ、
現場で役に立ち、喜んでいただ
ける製品開発

17



マキタの取組み

エンジンから充電へ

充電式園芸用機器(OPE: Outdoor Power Equipment)の開発・拡販

当期の
新製品



充電式芝刈機
MLM460D

PR活動



展示会・体験イベントの開催

＜充電式OPEのメリット＞

- ✓ 排ガスゼロ(工具使用時)
- ✓ 騒音・振動の低減
- ✓ 軽量
- ✓ 操作性・メンテナンス性◎

＜取組みの方向＞

- ・ 高性能な新製品の投入
- ・ 拠点網を活かしたメリット体感
機会の創出、ニーズの掘り起し
- ・ 物流・サービスの拡張&強化
- ・ 販売チャネルの開拓

18



マキタの取組み

販売・サービス、物流拠点の拡充

顧客・地域密着スタイルの営業体制の強化

当期開設された拠点(※リニューアルも含む)

地域	都市名
アジア	ムンバイ(インド) アーメダバード(インド) ハイデラバード(インド) ニャチャン(ベトナム) ホーチミン(ベトナム) 屏東(台湾) 他
欧州	ロンドン(イギリス) ウラジオストク(ロシア) プラハ(チェコ) オーバービッツ(スイス)
中南米	ボゴタ(コロンビア) サンチアゴ(チリ)

- サービスの強化、新製品の紹介、ユーザーニーズの開拓
- 充電式OPEの販売拡大への対応(サービス面、物流面)



マキタ・チリ Ltda.
設立20周年&新社屋完成記念イベントの様子

19



2020年3月期 売上収益予想

前期比

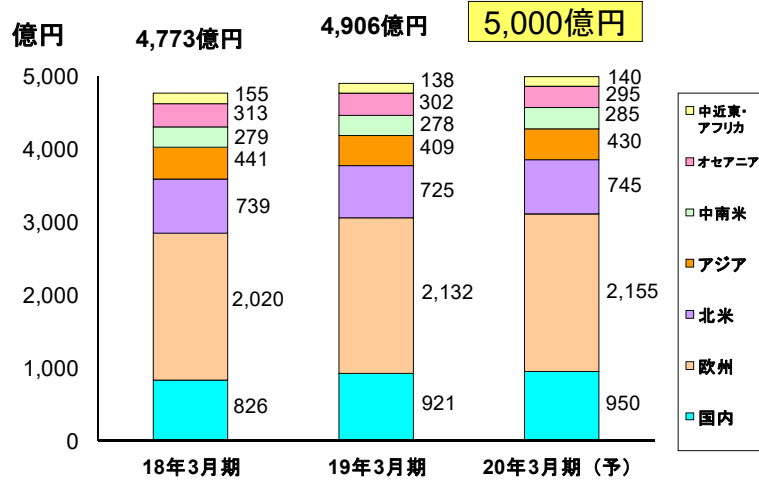
売上収益	5,000億円	+1.9%
国内売上	950億円	+3.1%
海外売上	4,050億円	+1.6%
海外比率 81.0% (19/3 81.8%)		

想定為替レート

米ドル	ユーロ	ユーロ/ドル	人民元
110円	125円	1.14	16.3円

20

地域別売上予想

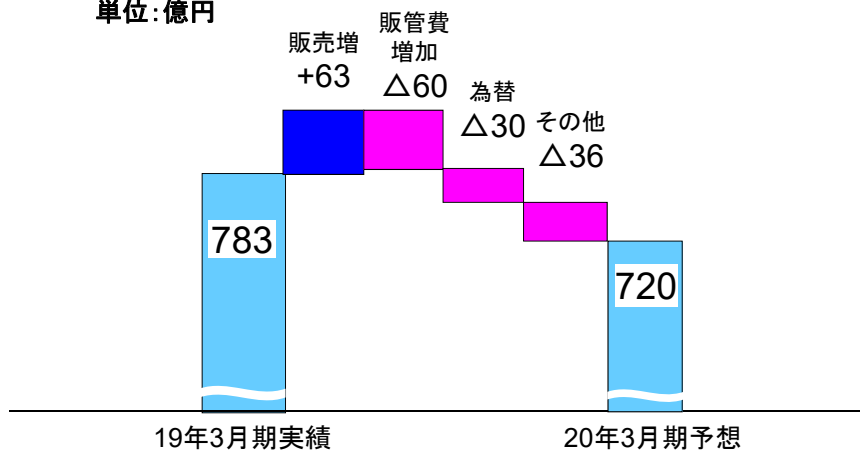


21

営業利益(予想)増減要因



単位:億円



22

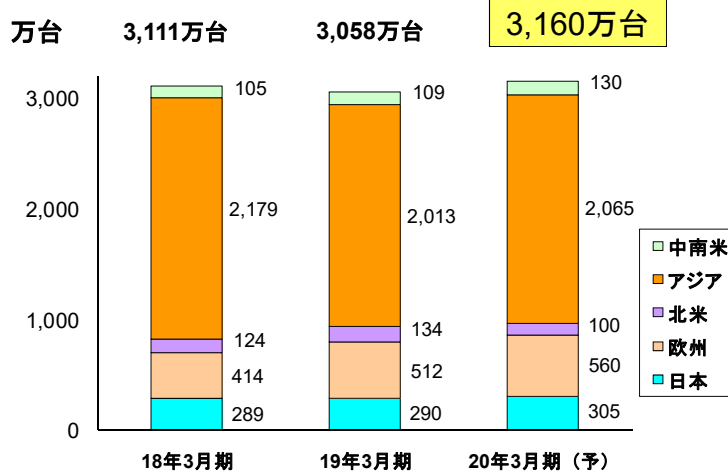
2020年3月期 通期業績予想



	19年3月期	20年3月期	前期比
売上収益	4,906億円	5,000億円	+1.9%
営業利益	783億円	720億円	△8.1%
税引前利益	799億円	727億円	△9.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	558億円	500億円	△10.3%
EPS	205.37円	184.18円	-
ROE	9.9%	8.7%	1.2pt低下

23

生産計画



24

設備投資・減価償却費・研究開発費



設備投資 単位:億円



減価償却費 単位:億円



研究開発費 単位:億円



25

配当



基本方針	連結配当性向 30%以上	
	19年3月期	20年3月期
親会社の所有者に帰属する当期利益	558億円	500億円(予)
EPS	205.37円	184.18円(予)
特殊要因 (税引後)	—	—
1株当たり年間配当金	62円	未定(注)
中間配当	10円	10円
期末配当	52円	未定(注)
配当性向	30.2%	30%以上

(注)2020年4月開催予定の取締役会で連結配当性向30%以上となる配当案を決定。

26



ここで記載されている見通しは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

<http://www.makita.co.jp/>